

和歌山県 橋本市図書館

基本データ

所在地 和歌山県橋本市東家
一丁目6番27号
職員数 6人
うち司書数 4人
蔵書数 約160,000冊
利用登録者数 36,300人
年間貸出冊数 238,361冊
(児童用図書貸出数 126,365冊)

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】子供の読書啓発、子供に対するサービスの充実

【活動のねらい】

- 各自の読書の振り返りとともに、冊数が貯まっていく喜びを、子どもの読書意欲高揚につなげることを目的とする。

取組・活動の概要

- 平成19年7月から図書館来館者を対象とした「ぶっくんつうちょう」事業を開始。
- 市内小学校児童全員に「ぶっくんつうちょう」を配布。
- 通帳には各自が読んだ本の書名を書き込み、図書館カウンターや移動図書館車での巡回時に図書館職員が確認印を押印する。
- 150冊ごとに缶バッジ、通帳1冊終了時に簡易な表彰状を渡し、引き続き新たな1冊に記録していってもらう。
- 平成29年11月から、様式を更新した「ぶっくんつうちょう(1冊に300冊記入可能)」を、市内小学校児童全員(約3,000人)に配布し、以降、毎年新小学1年生(約450人)に配布を行う。
- 平成29年度予算で10,000冊を印刷(191,160円)



図書館職員が確認印を押印



通帳終了時にもらえる缶バッジと表彰状



ぶっくんつうちょう



移動図書館の巡回での様子

取組・活動の工夫や特徴

- システムによらないため、安価で取組が可能。
- 読書意欲高揚を目的とするため、図書館以外の本も記録対象とした。
- 節目節目で達成感を得られるよう、簡易な表彰状と缶バッジを贈呈。

取組・活動の成果や今後の展望

- 小学校児童全員に配布したことにより、児童書の個人利用、団体貸出の増加につながっている。
- 児童書の貸出冊数は、平成 28 年度 約 11 万冊→平成 29 年度 約 13 万冊。
- 300 冊達成時の表彰状の枚数により、一定の成果の把握はできるが、以前との比較ができていない。

